

長期投資家の皆さまへ

8月の急落以降、再び1か月ぶりのまとまった下落が起きました。

今回の下げでもつくづく、マーケットの反応は実に日和見だと思われ知らされます。この1か月は、先月下旬に米国株式市場ではダウ平均株価が再び最高値更新するまでの急回復で、米国の金融政策がいきよ利下げに転ずることをフルに織り込んでの景気下支えを前提とした楽観期間でした。

ところが9月に入り、ひとたび景気減速を示す指標が出ると、途端の悲観へのシフト。日本株は悲観の連鎖で過剰反応したわけで、市場の一喜一憂は常の事とはいえ、こうした気分屋さんには短期筋だっとうんざりではないでしょうか。

長期投資家にとっては、またお安い値段で良い仕込みが出来る機会でしたが、長期投資家を目指し、自認しようと思うなら、肝に銘じてやってはいけない行動が、慌ててマーケットから退場してしまう狼狽売りです。

ところが実は多くの方にあとで聞いてみると、相場急落時には売却する勇気も出なくて凍りついていたが、その直後にとりあえず新たな積立投資を停止してしまう人がけっこういるのです。積立契約の取りやめは割と軽い気持ちで出来ちゃうようで、これも長期投資家としての行動ご法度です。

短期的相場変動では、決して投資行動を変えぬこと！それが将来への長期的運用成果をしっかり育てて行くための大事な術です。



2024年9月5日

なかのアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

この資料は情報提供を目的として、なかのアセットマネジメント株式会社によって作成されたものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。

また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

商号：なかのアセットマネジメント株式会社（設定・運用を行います）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 3406 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会